



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 山加電業株式会社

コード番号 1789 URL <http://www.yamaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三森 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 中澤 文雄

TEL 03(5957)7661

四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	2,791	66.6	114	—	176	—	171	—
27年9月期第2四半期	1,675	△41.2	△128	—	△58	—	△78	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 169百万円 (—%) 27年9月期第2四半期 △78百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年9月期第2四半期	26.94	—
27年9月期第2四半期	△12.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円銭	
28年9月期第2四半期	3,255		1,842	56.6			289.25	
27年9月期	2,766		1,696	61.3			266.31	

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 1,842百万円 27年9月期 1,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年9月期	—	2.00	—	4.00	6.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	7,336	116.9	136	—	234	—	244	—	38.32	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期2Q	6,375,284 株	27年9月期	6,375,284 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年9月期2Q	6,201 株	27年9月期	6,201 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	6,369,083 株	27年9月期2Q	6,369,083 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府による経済、金融政策を背景に企業収益の向上や雇用情勢の改善など景気は回復基調にあるものの、中国をはじめとするアジア新興国経済の下振れや原油価格の下落による資源国の景気の減速懸念などから先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、民間設備投資は増加基調となる一方、公共投資は総じて弱い動きとなり、また、労務費の上昇傾向は続いており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは顧客密着型及び採算性重視の営業活動を積極的に展開し、グループを挙げて新規工事の受注確保に努める一方、工事採算性の向上に向けたコストの削減、業務の効率化などにより利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、46億2千万円（前年同四半期比111.5%増）、売上高は27億9千1百万円（前年同四半期比66.6%増）となりました。

利益につきましては、売上高の増加と収益性の向上に努めたことにより営業利益は1億1千4百万円（前年同四半期は1億2千8百万円の営業損失）、経常利益は1億7千6百万円（前年同四半期は5千8百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千1百万円（前年同四半期は7千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電気工事業）

全体的に受注高は堅調に推移し、施工管理の改善による資材コスト等の工事原価低減を推進した結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は46億2千万円（前年同四半期比111.5%増）、売上高は23億5千6百万円（前年同四半期比83.1%増）、セグメント利益（営業利益）は7千7百万円（前年同四半期は1億3千5百万円のセグメント損失）となりました。

（建物管理・清掃業）

積極的な営業活動を展開するとともに、業務の効率化を推進し、収益の向上を努めたことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億3千5百万円（前年同四半期比12.0%増）、セグメント利益（営業利益）は3千7百万円（前年同四半期比399.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億8千9百万円増加し、32億5千5百万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億4千3百万円増加し、14億1千3百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億4千6百万円増加し、18億4千2百万円となっております。

資産の増加の主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等4億7千6百万円の増加によるものであります。

負債の増加の主な要因は、工事未払金3億4千6百万円の増加によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億7千3百万円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ8千5百万円増加し、9億8千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と増加・減少の要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1千7百万円（前年同四半期は4億4千9百万円の減少）となりました。この主な要因は、売上債権の増加4億7千6百万円もありましたが、税金等調整前四半期純利益1億7千5百万円及び仕入債務の増加3億4千5百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は2千1百万円（前年同四半期は1千9百万円の減少）となりました。この主な要因は、定期預金の預入による支出1億5千万円もありましたが、有形固定資産の売却による収入3千1百万円及び定期預金の払戻による収入1億5千万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、4千5百万円（前年同四半期は3億8千4百万円の増加）となりました。この主な要因は、短期借入金の返済による支出2億2千5百万円及び配当金の支払額2千4百万円もありましたが、短期借入れによる収入3億円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえました結果、「平成27年9月期決算短信」（平成27年11月12日付）で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,046,173	1,131,206
受取手形・完成工事未収入金等	672,735	1,149,278
未成工事支出金	56,885	22,566
繰延税金資産	1,252	1,252
その他	68,093	13,406
貸倒引当金	△12,602	△3,684
流動資産合計	1,832,537	2,314,025
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	442,238	369,493
機械・運搬具	350,941	352,481
工具器具・備品	282,770	286,197
土地	359,351	328,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△885,342	△827,664
有形固定資産合計	549,959	508,550
無形固定資産		
のれん	84,210	78,381
その他	30,342	26,908
無形固定資産合計	114,553	105,289
投資その他の資産		
投資有価証券	247,200	305,966
長期貸付金	335,000	335,000
繰延税金資産	169	169
その他	41,196	34,747
貸倒引当金	△354,341	△347,896
投資その他の資産合計	269,224	327,986
固定資産合計	933,737	941,827
資産合計	2,766,274	3,255,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	467,513	814,117
短期借入金	250,000	324,998
未払法人税等	10,642	9,389
未成工事受入金	32,016	25,610
賞与引当金	16,144	9,931
完成工事補償引当金	310	520
その他	165,521	103,925
流動負債合計	942,147	1,288,492
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	7,555	6,485
退職給付に係る負債	99,673	30,233
その他	20,758	88,380
固定負債合計	127,988	125,099
負債合計	1,070,135	1,413,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	821,016	795,540
利益剰余金	61,597	235,438
自己株式	△1,900	△1,900
株主資本合計	1,870,382	2,018,747
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△174,243	△176,486
その他の包括利益累計額合計	△174,243	△176,486
純資産合計	1,696,139	1,842,261
負債純資産合計	2,766,274	3,255,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高		
完成工事高	1,286,992	2,356,011
不動産管理売上高	388,247	435,327
売上高合計	1,675,240	2,791,339
売上原価		
完成工事原価	1,173,149	2,013,058
不動産管理売上原価	254,922	304,684
売上原価合計	1,428,072	2,317,743
売上総利益		
完成工事総利益	113,842	342,953
不動産管理売上総利益	133,324	130,642
売上総利益合計	247,167	473,595
販売費及び一般管理費	375,243	359,119
営業利益又は営業損失(△)	△128,075	114,476
営業外収益		
受取利息	127	72
持分法による投資利益	69,880	58,765
その他	1,681	6,447
営業外収益合計	71,690	65,285
営業外費用		
支払利息	2,455	2,093
手形売却損	5	32
訴訟関連費用	—	800
支払保証料	88	—
その他	24	516
営業外費用合計	2,573	3,442
経常利益又は経常損失(△)	△58,959	176,319
特別利益		
固定資産売却益	—	1,111
特別利益合計	—	1,111
特別損失		
損害賠償金	—	1,255
固定資産売却損	—	1,109
特別損失合計	—	2,364
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△58,959	175,065
法人税、住民税及び事業税	9,533	4,538
法人税等調整額	9,600	△1,070
法人税等合計	19,133	3,467
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,092	171,597
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,092	171,597

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,092	171,597
その他の包括利益		
土地再評価差額金	-	△2,243
その他の包括利益合計	-	△2,243
四半期包括利益	△78,092	169,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,092	169,354
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,959	175,065
減価償却費	36,718	24,938
のれん償却額	17,992	5,829
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,107	△15,363
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,241	△6,212
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,602	△69,440
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△40,050	—
その他の引当金の増減額(△は減少)	△560	210
受取利息及び受取配当金	△127	△72
支払利息	2,455	2,093
持分法による投資損益(△は益)	△69,880	△58,765
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1
損害賠償金	—	1,255
売上債権の増減額(△は増加)	△491,617	△476,271
未成工事支出金の増減額(△は増加)	99,896	34,319
仕入債務の増減額(△は減少)	168,971	345,053
未払金の増減額(△は減少)	△9,578	△86,265
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,157	61,879
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△38,663	△6,405
その他	△2,501	100,380
小計	△430,592	32,226
利息及び配当金の受取額	140	74
利息の支払額	△3,714	△2,802
損害賠償金の支払額	—	△1,255
法人税等の支払額	△15,536	△21,867
法人税等の還付額	—	11,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	△449,702	17,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,874	△9,719
有形固定資産の売却による収入	—	31,311
無形固定資産の取得による支出	△416	△148
定期預金の預入による支出	△150,059	△150,089
定期預金の払戻による収入	150,034	150,064
その他	△362	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,677	21,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△225,002
配当金の支払額	△13,036	△24,912
リース債務の返済による支出	△2,026	△4,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	384,937	45,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,442	85,008
現金及び現金同等物の期首残高	941,566	896,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	857,124	981,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,286,992	388,247	1,675,240	—	1,675,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	332	332	△332	—
計	1,286,992	388,579	1,675,572	△332	1,675,240
セグメント利益又は損失(△)	△135,551	7,467	△128,084	8	△128,075

(注) 1 売上高の調整額△332千円及びセグメント利益又は損失の調整額8千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,356,011	435,327	2,791,339	—	2,791,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	173	245	418	△418	—
計	2,356,184	435,572	2,791,757	△418	2,791,339
セグメント利益	77,204	37,265	114,470	5	114,476

(注) 1 売上高の調整額△418千円及びセグメント利益の調整額5千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。